

【山口県宇部市】【山口労働局ハローワーク宇部】

生活保護受給者の就職促進のため、ハローワークの就労支援ナビが就労支援会議のメンバーとして参加

【課題・目的】 市が開催する就労支援会議（ケース会議）へ就労支援ナビゲーターが出席することで、両者の連携を強化するとともに、支援対象者の情報を共有することで、就労自立促進を図る。

【実施概要】 市の生活保護係は1係から4係あり、係ごとの会議に各係を担当する就労支援ナビゲーターが出席し、意見交換を行う。月4回、毎週火曜日、16時～17時開催

【役割分担】

【宇部市】

- ◆就労支援会議の開催
- ◆支援対象者の近況等の報告

【ハローワーク】

- ◆支援対象者に対して行った支援状況の説明
- ◆新たな就労支援サービスの提案、提供

【効果】

市の担当者、ケースワーカー、就労支援員で行う会議に出席することにより、支援対象者が抱える問題点、課題、方向性等の共有が図られ、共通認識の基で就労支援が実施できている。

＜宇部市コメント＞

就労支援会議への出席により、生活保護受給者の状況、支援方針等の情報共有が行われるため、福祉事務所及びハローワークの就労支援も的確に行うことができ、就労自立の助長が図られている。

＜労働局コメント＞

ハローワークの就労支援ナビが、市で開催するケース会議に直接参加することで、顔の見える連携が取れている。